

### 株式会社鹿児島北斗製作所

#### <主な業務内容>

プラスチック射出成型

<KES 登録日> 2007年4月1日



環境管理責任者の大平様

今回、訪問させて頂いたのは、鹿児島市郡山にある、プラスチック成形を事業とされる鹿児島北斗製作所さんです。初めて訪問記を書くということで、緊張していたのですが、環境管理責任者の大平さんが、にこやかに迎えて下さったので、肩の力を抜いて、取材することが出来ました。

### 会社の歴史

こちらの会社の創設者は、近くの小山田出身の稲村社長です。

最初は東京で事業を始められたそうですが、地域への社会貢献ということで、郡山にも会社を設立。42年という長い歴史を持つ会社です。

現在の従業員数は19名です。



バックモニターライト。このおかげで、液晶画面が明るく見やすくなるのです。

### 製品

鹿児島北斗製作所さんの製品では誰もが知っている、ソニーのビデオカメラ液晶モニター用の導光板を独自で開発されて商品化されておりました。日常、私たちが便利に使っている製品が、身近な場所で造られていたのですね。他にも様々な製品を扱われており、最近では、女性が気になる製品を、社運をかけて開発中でした。

その製品もいつの日かみなさんのお目にとまる日がくるかと思いますが、今回は、商品説明は秘密ということにしておきましょう。

製造業という機械的な作業をイメージしていましたが、お話を色々伺っていると、試行錯誤を繰り返し、より良い物を追及していく姿勢が分かり、製品に愛情を注いでいる働き手の心が伝わってきました。



整理整頓の行き届いた工場内

### KES との出会い

同業者の「サンライト化成」さんが KES に取り組まれていることを知ったのがきっかけということでした。

ISO は経費がかかりすぎるため、自分たちの身の丈にあった KES を導入。

KESステップ1に4年間取組まれています。省エネ効果も上がり、会社全体の環境に対する意識がとて高くなったそうです。

### 無駄が減った！

管理責任者としての苦勞をお聞きすると、「製品の受注には変動があるため、電気などの使用量の目標を立てるのが大変。」というお話でした。KESに取り組んで良かったことはとお聞きすると、「全体的に無駄が減った。」ときっぱり。

お話の中で印象に残ったことは、成型機の過熱筒の保温を止めてエネルギーの削減をされている。それには洗浄剤をうまく利用し手間とお金をかけて品質確保とエネルギー削減をしていると伺ったことでした。

今までは、品質確保のために加熱筒を止めることはなかったらしいのですが、品質を保ちながら、エネルギーのことを考えて洗浄等の手間暇をかけるということで、従業員さんたちに理解をしてもらったことへの大変さを感じました。

従業員教育は、3ヶ月に1回、また毎月のTGALのメルマガも朝礼等でみなさんに紹介されているということでした。メルマガを活用して頂いていることが分かり嬉しくなりました。

また、毎月、近隣の会社と合同で、周辺の清掃活動をされているそうです。人数が多ければ広範囲に清掃も出来るので、効果が大きいし、またよその会社の方たちとのつながりを深め、活動を拡大したいとお話して頂きました。



毎月一回の合同清掃活動。

### 今後の展開

今後の展開としては、さらに環境活動を充実し、経営に活かすために、ISO14001とほとんど変わらないKESステップ2を目指したいとのことでした。

### 子ども達の未来の為に

KESを会社で取り組みながら、自然と環境意識が身についたとおっしゃる大平さんには、3人のお子様がいらっしゃるそうです。「自分たちが子どもの頃に言われたことは、記憶に残り、身についている。これからの未来を生きていく子ども達には環境教育はとても大切だと思う。」と最後に熱く語られました。